

2019年6月13日

2019年度 高齢者薬物治療認定薬剤師制度認定試験 実施要綱

■ 受験要綱

【実施概要】

日時： 2019年9月29日（日） 13:00～16:30

試験会場： グラントウキョウサウスタワー 12階
（東京都千代田区丸の内1-9-2 / JR東京駅丸の内南口より徒歩約3分）

試験内容： 1. 選択問題
2. 症例提案
3. 小論文

【お申込み】

申込開始日： 2019年6月14日（金）

お申込みURL：<http://pfpd.or.jp/pharmacist/>

（薬局共創未来人財育成機構 薬剤師生涯教育センター

ワークショップ・セミナー情報）

【受験料】

5,000円（税別）

※ 合格後に認定を受ける場合は、別途5,000円（税別）が必要となります

■ 実施要綱

【認定試験の内容】

1. 選択問題・・・各種ガイドラン及び公認テキストに沿った内容
出題範囲：Mobile Seminar で講義する内容および確認試験、またその応用問題
2. 症例提案・・・提示された症例に対し処方解析を行い、医師への処方提案を作成する
3. 小論文・・・高齢者の薬物治療に関するテーマに対し各自の考えを述べるもの

【合格基準】

1. 選択問題（100点満点）：80点
2. 症例提案（100点満点）：80点
3. 小論文（100点満点）：80点

※ 1. 選択問題、2. 記述問題、3. 小論文、それぞれの合格基準を満たす必要があります

【その他】

認定薬剤師の認定試験を、諸事情により初回集合研修参加日から2年経過までの間に受験できない場合、あるいは認定試験に不合格となった場合は、初回集合研修参加日から3年以内*を研修期限延長期間として認め、延長期間内は3報/年の処方提案症例レポートを提出していただきます

※ 出産等の特別な事情を有する場合は、最長4年とします

【認定試験問題 概要】

選択問題 (3 択 100 問) (制限時間 : 45 分)

Mobile Seminar コンテンツの内容に基づく内容で、必要な知識の習得度を測ります
合計 100 問を各領域から出題します
領域別の出題数は以下の通りです

領域別出題数

基礎シリーズ 40 問
治療薬シリーズ 40 問
疾患シリーズ 20 問
(合計 : 100 問)

[配点]

1 問につき 各 1 点 (100 点満点)

[合格基準]

80 点以上

出題例)

以下の記述について、正しい場合は「正」に○を、誤っている場合は「誤」に○をつけて下さい

1. (正・誤) 認知症の中核症状には、記憶障害と認知機能障害があり、認知機能障害には失語・失認・失行・実行機能障害がある。
2. (正・誤) 高齢者の過活動膀胱の治療では、抗コリン作用を有する薬を積極的に使用する。
3. (正・誤) 高齢者で腎機能が低下した場合、薬物の腎クリアランスはクレアチニンクリアランスに比例して低下すると考えることができる。
4. (正・誤) PPI の Step up 治療を行う事で、医療費を減らす事ができると言われている。
5. (正・誤) 機械弁に置換されている心臓弁膜症患者に対して、直接経口抗凝固薬は積極的に推奨される。

症例提案 (制限時間：75分) 資料の持ち込み可 (制限はありません)

提示された症例に対し処方解析を行い、医師への処方提案のための文書を作成します

[合格基準]

80 点以上

- ・ 潜在リスクも含め処方の問題点を抽出し、根拠をもって説明できていること
- ・ 病態，代謝機能，身体機能，患者背景のすべての視点について、根拠に基づいた解析結果により処方提案がなされていること

出題例)

次の症例の処方の問題点について説明し、改善のため処方提案を記載してください。(自由記載)
処方提案に対しては、その根拠を必ず記載してください。

【解答例】

- ① (有害事象A) が生じていますが、(病態) が原因で生じる症状とは考えにくい状況です。現在服用中の薬剤A、Bの相互作用により生じているものと考えられますが、(腎機能) を考慮すると薬剤Aは血中濃度が高くなることが予想され、また薬剤Bは副作用Aのリスクもあることから、2剤併用の必要性がなく、薬剤A単剤で良いと考えられます。
- ②薬剤Cの残薬の多さが問題となりますが、効果が十分に得られていない可能性がございます。1日2回の服用となっておりますが、起床が遅く朝食を食べない日もあることや、同居する息子の帰宅が遅いことから夕食時の飲み忘れが多くなっているようです。
- 〇〇ガイドラインでは推奨度・エビデンスレベルともに高く1Aとなっており、継続すべきと考えられますので、ヘルパーの訪問がある、昼食時1回の服用となるように処方量の調節をお願い申し上げます。現在の腎機能を考慮すると、薬剤Cに関しては減量を考慮した方が安全と考えられますので、昼食後1回1錠でも問題ないと考えられます。
- また、錠剤が大きく飲みにくいことも原因となるようですので、現状の嚥下機能を考慮し、口腔崩壊錠が販売されているGE薬に変更するほうが飲みやすくなりますので、併せてご検討下さい。

小論文 (制限時間：60分)

高齢者の薬物治療に関するテーマに対し、自身の考えを400字以内で述べてください

[テーマ設定について]

高齢者の薬物治療に関するトピックから設定します

例) 新聞記事、ネット上の医療サイトの記事、学会報告、他

[合格基準]

80点以上

- ・ 専門知識を学んだ認定薬剤師としての態度を評価します

テーマ案

国立病院機構栃木医療センターは、多種類の薬を服用している高齢者の有害事象を減らすため、「ポリファーマシー外来」を開設した。医師、薬剤師、看護師等の多職種チームを結成し、5剤以上の薬を内服している入院患者で同意が得られた人を対象に、外来で薬の組み合わせを確認していく取り組みだ。今年1月から整形外科病棟で介入を開始したところ、5カ月で平均3剤の薬剤中止という成果を得た。チームをまとめる内科医長の矢吹拓氏は、「ポリファーマシーにシステムで対応することにより、病院全体に取り組みを広げ、地域にも啓発して薬を減らしていきたい」と話している。

【マイナビ薬剤師 医薬業界最新ニュース 2015.9.16】

勤務先で、後期高齢者に対してポリファーマシーに対する取り組みを行うことになりました。どのような取り組みを行うか、ご自身の勤務環境（薬局・病院の地域特性等も含めて）、受ける処方内容等の背景から、何故その取り組みが必要なのかも分かるように。またその取り組みを行うにあたって何に配慮して取り組むべきかも併せて述べて下さい。